

# ご利用者・ご家族からの ハラスメントに関するアンケート

(2018年4月～5月実施)

---

中間報告 (2018年4月20日時点)

UAゼンセン

日本介護クラフトユニオン(NCCU)

政策部門

## 調査概要

### (1) 調査の目的

介護現場では、ご利用者やそのご家族からどのようなハラスメントが存在し、どのように対応しているのか、さらにその原因などを把握し、今後の日本介護クラフトユニオン(NCCU)の活動に反映させる目的で、本調査を行っている。

### (2) 調査時期

平成30年4月～5月末日

(本結果は、2018年4月20日までにNCCUへ到着した1,054件の調査票を集計したもの。現在、回収継続中)

### (3) 調査対象

NCCUの分会組合員および個人組合員 約78,000名

### (4) 回答方式

択一選択式 および 複数選択式 および 自由記述式

### (5) 実施の方法

調査票は、組合員の自宅へ届けられる機関誌(NCCU NEWS)に同封する方法にて配布した。組合員が各自回答後、同封の返信用封筒(宛先はNCCU本部)に調査票を入れ、ポストへ投函する方法で回収を行った。

## 回答者プロフィール（2018年4月20日時点）

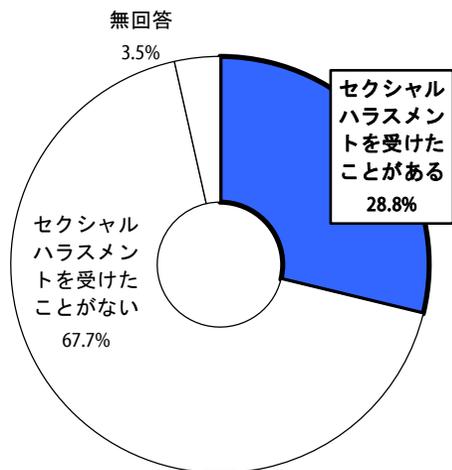
	回答者数	割合(%)	
性別	女性	908 86.1	
	男性	146 13.9	
	無回答	0 0.0	
計	1,054	100.0	
関わっている 介護サービス	訪問介護	528 50.1	
	訪問入浴	11 1.0	
	訪問看護	9 0.9	
	通所介護(認知症対応型を含む)	60 5.7	
	短期入所生活介護(ショートステイ)	1 0.1	
	福祉用具貸与	9 0.9	
	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)	176 16.7	
	介護老人福祉施設(特養)	9 0.9	
	介護老人保健施設(老健)	0 0.0	
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	66 6.3	
	夜間対応型訪問介護	2 0.2	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10 0.9	
	小規模多機能型居宅介護	22 2.1	
	看護小規模多機能型居宅介護	2 0.2	
	居宅介護支援	93 8.8	
	サービス付き高齢者住宅	42 4.0	
	その他	10 0.9	
	無回答	4 0.4	
	計	1,054	100.0
	主な仕事 (職種)	訪問系介護員	439 41.7
		入所系介護員	195 18.5
		通所系介護員	50 4.7
		ケアマネジャー	118 11.2
生活相談員		15 1.4	
入浴オペレーター		2 0.2	
看護師		41 3.9	
准看護師		5 0.5	
福祉用具専門相談員		7 0.7	
事務職		42 4.0	
訪問系管理者		36 3.4	
入所系管理者		13 1.2	
通所系管理者		8 0.8	
サービス提供責任者		46 4.4	
その他		35 3.3	
無回答		2 0.2	
計		1,054	100.0

	回答者数	割合(%)
事業所の所在地	北海道	34 3.2
	青森県	6 0.6
	岩手県	13 1.2
	宮城県	11 1.0
	秋田県	3 0.3
	山形県	9 0.9
	福島県	10 0.9
	茨城県	5 0.5
	栃木県	11 1.0
	群馬県	0 0.0
	埼玉県	73 6.9
	千葉県	65 6.2
	東京都	216 20.5
	神奈川県	115 10.9
	新潟県	13 1.2
	富山県	2 0.2
	石川県	8 0.8
	福井県	1 0.1
	山梨県	2 0.2
	長野県	11 1.0
岐阜県	5 0.5	
静岡県	42 4.0	
愛知県	64 6.1	
三重県	9 0.9	
滋賀県	4 0.4	

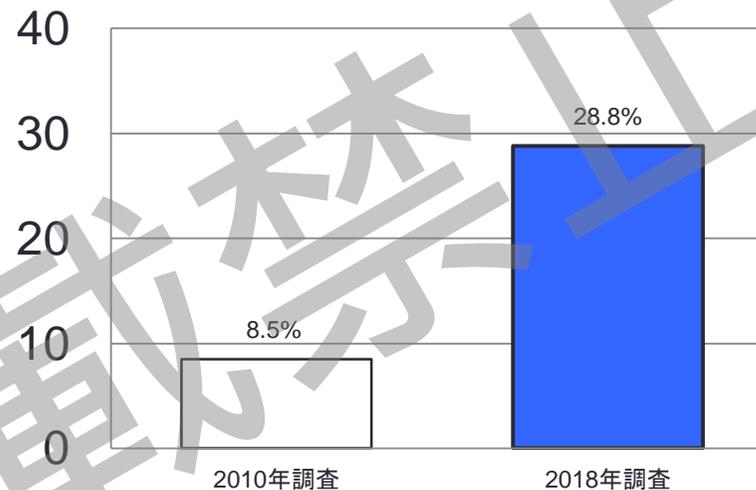
	回答者数	割合(%)
事業所の所在地	京都府	26 2.5
	大阪府	121 11.5
	兵庫県	56 5.3
	奈良県	5 0.5
	和歌山県	7 0.7
	鳥取県	0 0.0
	島根県	2 0.2
	岡山県	3 0.3
	広島県	17 1.6
	山口県	11 1.0
	徳島県	2 0.2
	香川県	1 0.1
	愛媛県	6 0.6
	高知県	1 0.1
	福岡県	32 3.0
	佐賀県	2 0.2
	長崎県	5 0.5
熊本県	11 1.0	
大分県	1 0.1	
宮崎県	2 0.2	
鹿児島県	2 0.2	
沖縄県	1 0.1	
無回答	8 0.8	
計	1,054	100.0

## ハラスメントを受けたことがある割合と、その性別

回答者全体（1054名）のうち28.8%（304名）が、セクシャルハラスメントを受けたことがある



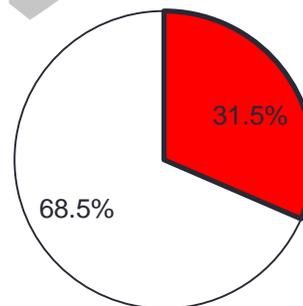
セクシャルハラスメントを受けたことがある割合比較  
2010年 N=2468 2018年 N=1054



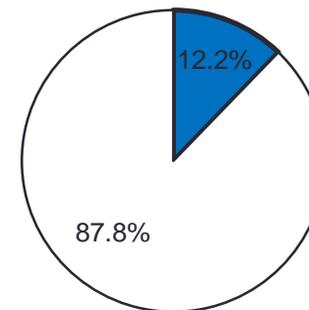
回答者全体(1054名)のうち的女性31.5%(286名) 男性12.2%(18名)がセクシャルハラスメントを受けたことがある



女性



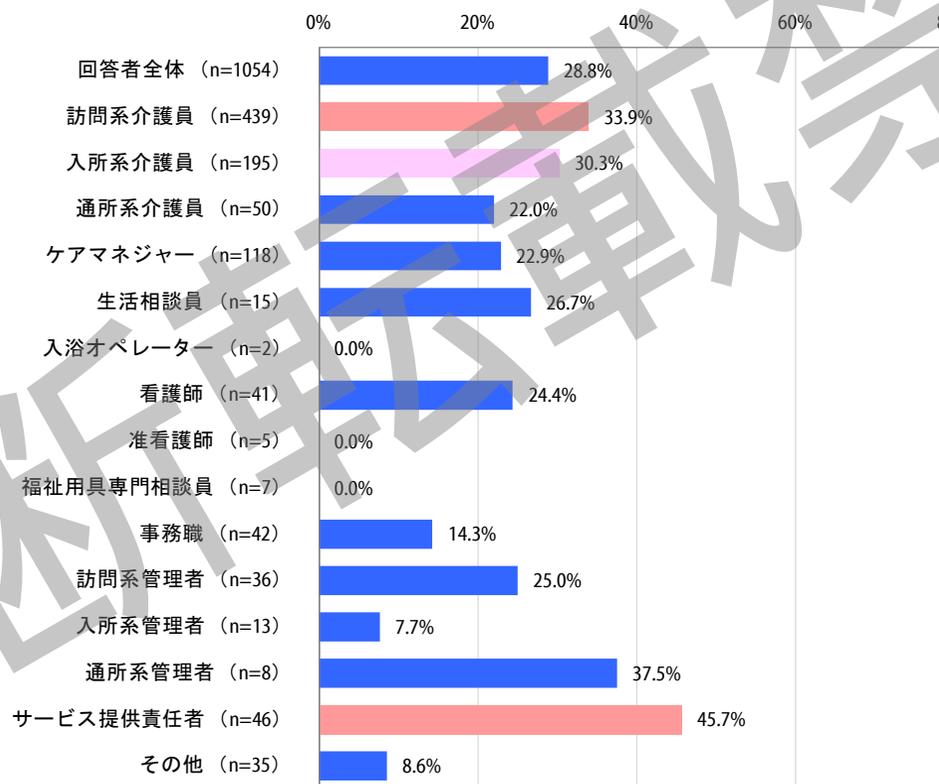
男性



■セクハラを受けたことがある  
□ 受けたことがない

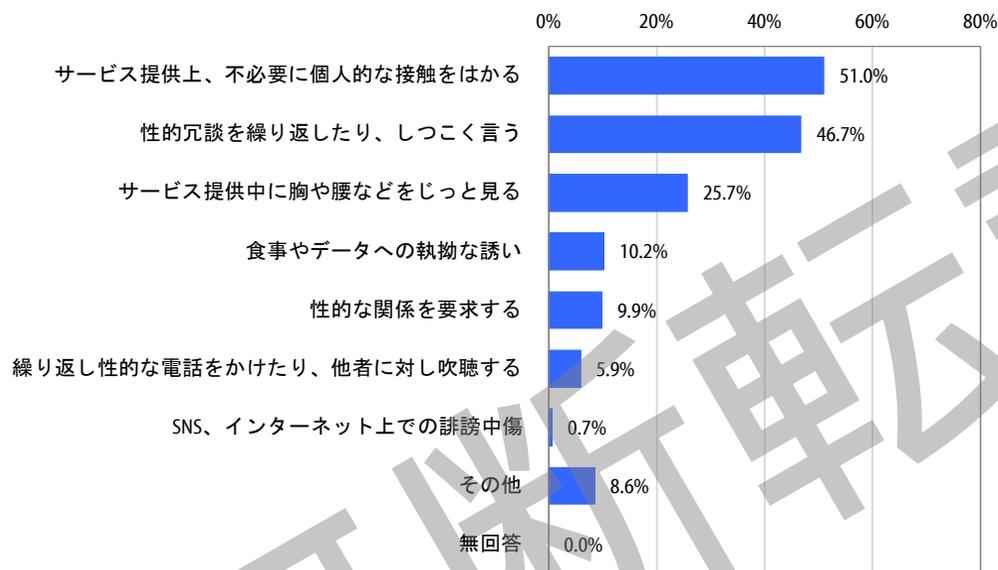
■セクハラを受けたことがある  
□ 受けたことがない

## 職種別に見たセクシャルハラスメントを受けたことがある割合



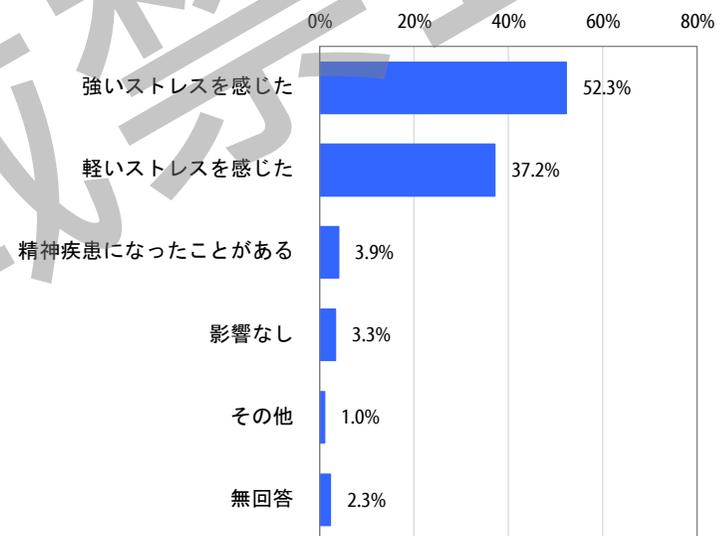
## どのようなセクシャルハラスメントに遭遇したか(Q1)

(複数回答)



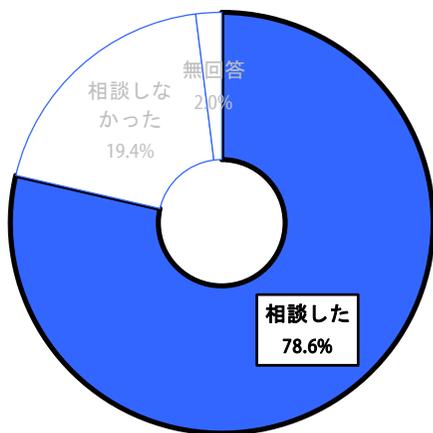
■ セクハラを受けた (n=304)

## セクシャルハラスメントから受けた自身への影響(Q2)

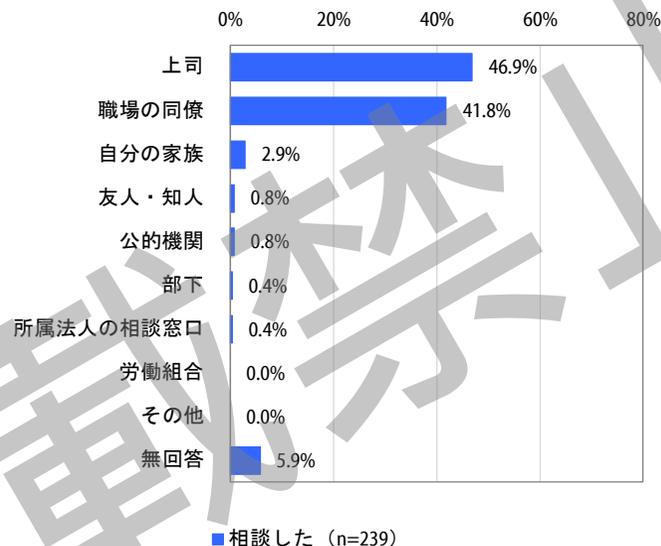


■ セクハラを受けた (n=304)

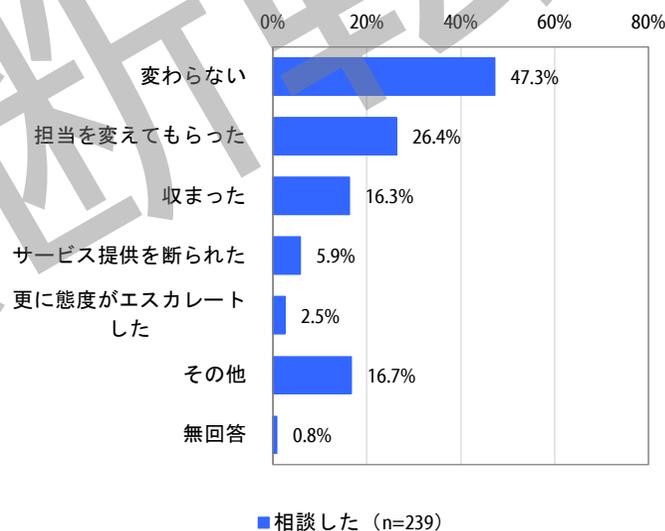
### 誰かに相談したか (Q3)



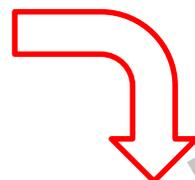
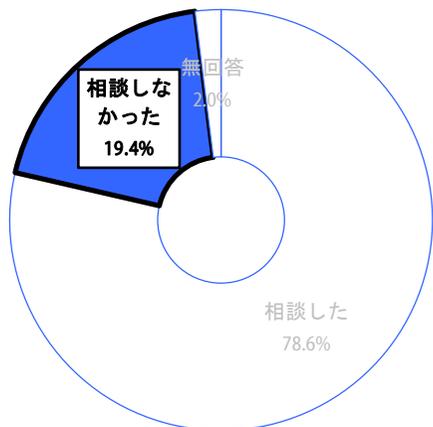
### 最初に誰に相談したか (Q4)



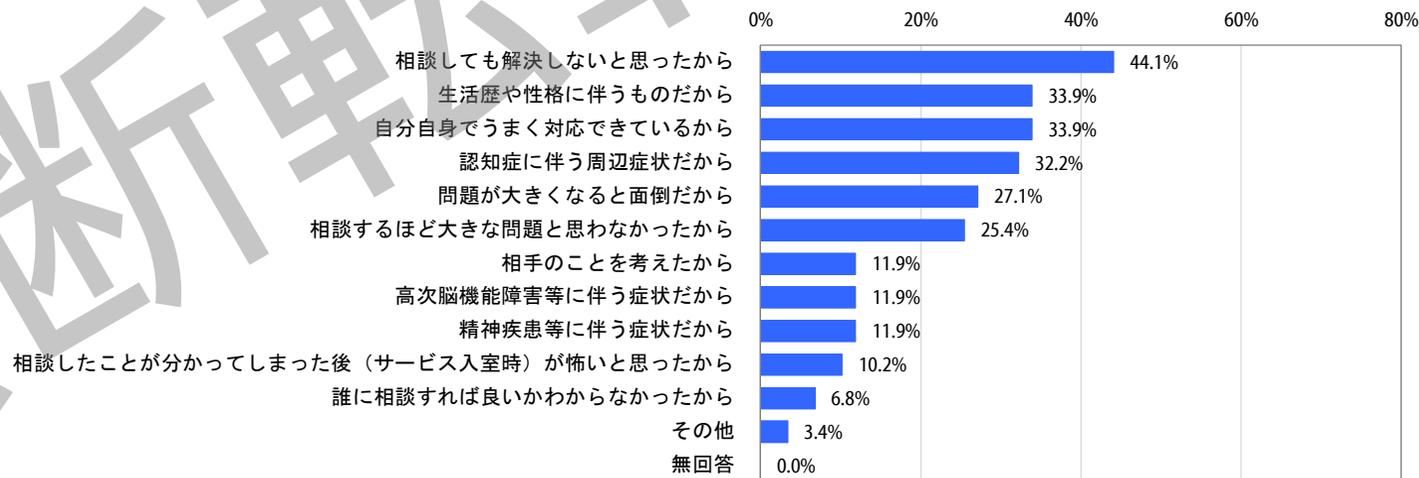
### 相談後の変化 (Q5)



## 誰かに相談したか (Q3)



## 相談しなかった理由 (Q6) (複数回答)



■ 相談しなかった (n=59)

## 相談しても解決しないと思った理由(Q6記述)

### 介護職のイメージ

- \* 介護職は我慢するのが当然という風潮。力量不足と考えられてしまう。
- \* プロの介護職はその程度のことは受け流すべき、と言われる。

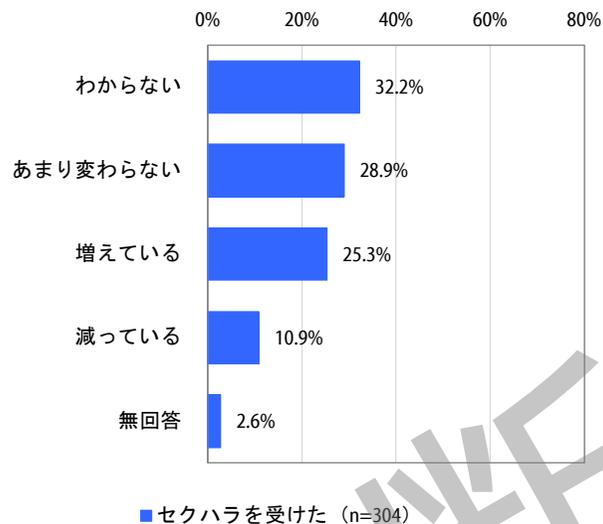
### 自身の考え方

- \* その程度のことは、自分でうまく対応すべきと考えていた。
- \* みんなが、セクハラはよくある、と言っているし、あしらせなければならぬ、と思ったから。

### 事業所・管理者の態度

- \* 上長に言っても親身に聞いてもらえない、と判断。
- \* 上長に報告した際に、真摯な態度ではないと感じたから。
- \* 事業所はご利用者大事。
- \* 事業所は常にご利用者への体裁しか考えていない。

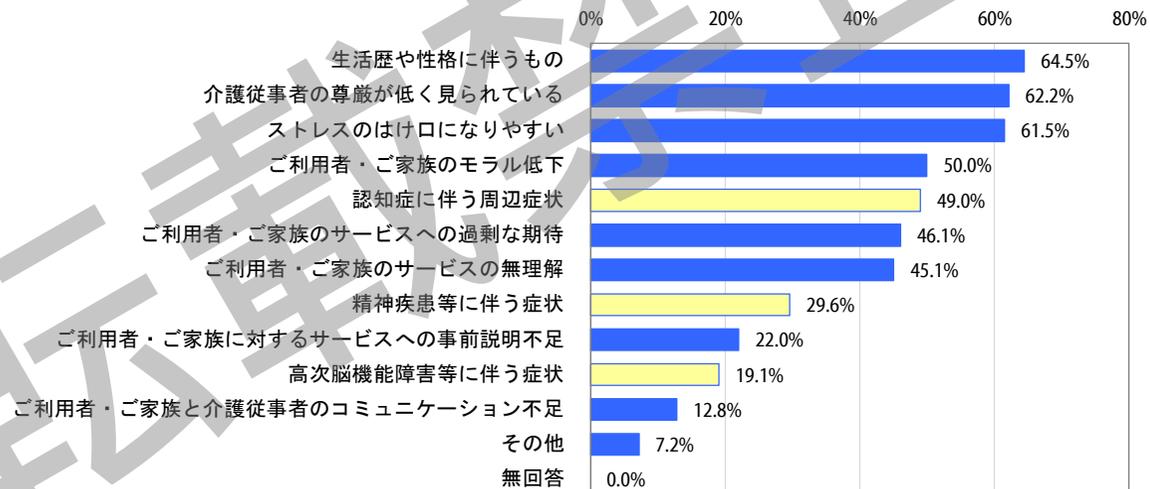
## 職場ではセクシャルハラスメントが近年増えているか(Q7)



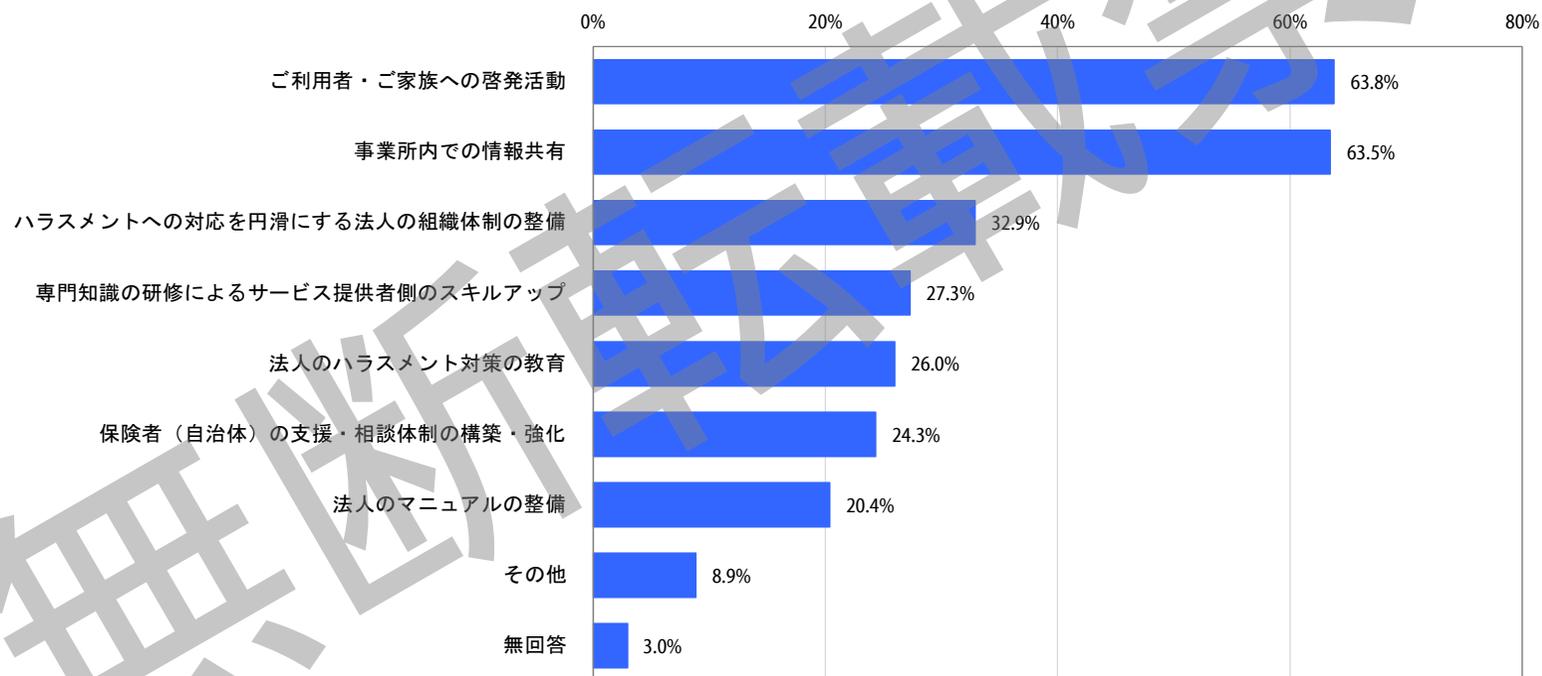
## セクシャルハラスメントが発生している原因(Q8)

(複数回答)

n=304



## セクシャルハラスメントから介護従事者を守るために、 どのような対応が必要か(Q9) (複数回答)



■ セクハラを受けた (n=304)

セクシャルハラスメントから介護従事者を守るために、どのような対応が必要か(Q9記述)

- \* 退去・退所させて良い、という**自治体**のルールを定める。
- \* **国**がサービス提供拒否のマニュアルを作成する。
- \* **事業者**は安全第一の考えを！
- \* **事業者側**からも断る自由を。なぜこちらがそんなに我慢をしなくてはいけないの？
- \* **ご利用者家族**にハラスメントの可能性についてはっきり説明すべき。
- \* ヘルパーは専門教育を受けた介護のスペシャリストであり、お手伝いさんではない！ということを**ご利用者**にしっかり伝えてほしい。
- \* **社会**が、介護する側へのハラスメントの現状を理解してほしい。
- \* **学校教育**で介護の体験を！



ご利用者ありき、の仕事だとは思いますが、現場の安全面も考えてほしい！